

Or Bareket Trio

[Profile]

Or Bareket オル・バレケット : bass



2017年、に初リーダーアルバム「OB1」が Fresh Sound New Tlent のレコードでリリースされた。

エルサレムで生まれ、アルゼンチンのブエノスアイレスとイスラエルのテルアビブで育つ。現在はNYのジャズシーンで、最も多様なベーシストの一人として注目を浴びている。

2011年に International Society of Bassists' jazz competition で優勝。

彼の生い立ちの多様さが、そのスタイルを際立たせている。特に即興へのアプローチは、地中海、南米、北アフリカの民族芸能などの要素を帯び、それらすべてはアメリカンジャズの伝統への深い敬意と知識をもって解釈されている。

NYに拠点を移してからは、Jean-Michel Pilc, サム・ヤヘル, スリー・コーエンズ (アヴィシヤイ、アナット、ユヴァル), ビリー・ハート, ビクター・ルイス, ドン・フリードマン, アリ・ホーニグ, アーロン・ゴールドバーグ, ジブ・ラヴィッツ, ギラッド・ヘクセルマン, エリ・デジプリ, シャイ・マエストロ, シリル・エイミー, ヨタム・シルバーステイン等、世界中の幅広いアーティスト達のレコーディングやツアーに参加している。

Godwin Louis ゴッドウィン・ルイス : as



を多くの人に紹介している。2019年2月、リーダーとしての彼のデビューアルバムである「Global」をにリリースする。

ニューヨークのハーレムで生まれ。

コネチカット州ブリッジポートとハイチのポルトープランスで育つ。

9歳でサクスを始め、パークリー音楽大学と名門のセロニアスモンクジャズパフォーマンス研究所を卒業する。彼は "セロニアス・モンク・インスティテュートオブジャズサクスクンクール" のファイナリストであり、ハービー・ハンコック、クラーク・テリー、ロジャー・ディッカーソン、ロン・カーター、アル・フォスターなどの著名なミュージシャンと共演し、マリ、セネガル、トーゴ、フランス、フィンランドなど、世界中の国々で演奏を行う。演奏のほかにも、世界中でクリニックとマスタークラスを実施している。

作曲家として、ジェローム財団の新興アーティストグラントとジャズギャラリーの新作委員会を受賞している。

また、非営利の教育学際的芸術団体である "ExperienceAyiti" の創設者である。

そして、教育者、人道主義者、大使として、ベニンから中国に旅行し、異文化理解を促進し、

公開コンサート、マスタークラス、ジャズセッションを通じてアメリカの芸術形式のジャズ

Savannah Harris サバンナ・ハリス :drums



また、彼女は即興グループのセカンドシティ、ベイルダンスフェスティバルのアーティストティックディレクターであるダミアン・ウツツェル、ビジュアルアーティストのマーク・フォックスとの学際的な仕事にも携わっている。

バンドリーダーとして、彼女自身のトリオや「リンカーンセンターのジャズ・フォー・ヤングピープル・プログラム」のジャズのティーチングアーティストでもある。2019年にハーレムステージ新興アーティスト賞を受賞する。今、最も注目されているドラマーの一人です。

カリフォルニア州オークランドで育ったハリスは、幼い頃にドラムに興味を持ち2歳頃から父親のフレッド・ハリスと継父のカリル・シャヒードにドラムを習い始める。2015年にハーワード大学でダブルメジャー（ジャーナリズムとジャズ）を修了する。

彼女はハーワード大学ジャズアンサンブルのメンバーであり、DC ジャズフェストのフレッド・フォス・カルテットに出演した。

その後、ニューヨークに移り、2019年にマンハッタン音楽学校でステフォン・ハリスと修士号を取得する。

近年は、ジェイソン・モラン、ケニー・バロン、アーロン・パークス、テレンス・ブランチャード、ジェリ・アレン、マーカス・ベルグレイブ、ジョージア・アン・マルドロー等と共演する他に、エティエンヌ・チャールズのクレオール・ソウル、ホセ・ジェイムズ、ピーター・エヴァンス、マリア・グラント、Or Bareket、そしてジオ・エスコバルをフィーチャーした前衛的なバンド Standing on the Corner 等とツアーをしている。